



ありがとう 飯舘校

相馬農業高等学校飯舘校 見学会

6月14日、15日に行われた相馬農業高等学校飯舘校の見学会。ここで学んでいた卒業生や、教鞭をとっていた先生方、さらには卒業生の子どもさんやお孫さんなど150人以上の方が訪れ、思い出を語りました。

飯舘校は、村内で唯一の高等学校として、村民に愛され、多くの人材を輩出し、村に賑わいをもたらしてきましたが、震災による避難を経て令和5年に本校に統合され、惜しまれながら74年の歴史に幕を下ろしました。

同校の敷地を含むエリアが産業団地として開発されることに伴い、解体工事が行われるのを前に、見学の機会が設けられました。来場した方からお聞きしたエピソード、恩師や学校に宛てた黒板の寄せ書きなどを通して、懐かしさと感謝に彩られた見学会の様子をお伝えします。



memory

思い出の野球ボール
飯舘校で野球部の監督を務めていた菅野直芳さん。見覚えのあるボールを拾うと、それはまさに自身の監督時代の記念ボールでした。「その年は、夏の大会で初めて1勝をあげた思い出の年で、見つけた時は驚きと喜びがこみ上げてきました」。



卒業生の菅野みゆきさん(宮内)は同級生と4人で校舎を回りました。調理実習室では授業の話に。「高校生の自分には“鮭のムニエル”がカルチャーショックだったな」。実習でつくった料理や当時の失敗談など、青春時代の思い出話に花が咲きました。



初めての鮭のムニエル

memory

までの里のこども園 3歳未満児 ふかや風の子広場で親子遠足

5月30日、3歳未満児の親子遠足を「ふかや風の子広場」で実施しました。広場の「ひみつ基地どきどき」では、スキンシップやコミュニケーションを楽しむ“ふれあい遊び”を体験したり、思い思いに遊具で遊んだりして、楽しいひとときを過ごしました。保護者の方には、先生方やお友達のご家族と、普段の遊びや成長の様子を話し合える貴重な機会ともなったようです。また、3・4歳児は6月20日に南相馬市の「NIKOパーク」で、5歳児は6月13日に仙台市の「うみの杜水族館」で、親子遠足を楽しみました。



「ひみつ基地どきどき」の木製すべり台の前で。子ども達も家族も先生方も、笑顔いっぱいの遠足でした。

までの里のこども園 3歳以上児 サツマイモの苗を植えたよ

6月6日、園の畑でサツマイモの苗植えを行いました。JAふくしま未来から、今年度も苗を提供いただき、同飯舘営農センターの高橋英樹さん(二枚橋・須萱)と風越隼平さん(南相馬市)に、“畑のスーパー先生”としてご協力をいただきました。

子ども達は、うねの間に学級ごとに並び、「大きなサツマイモができるといいな」「焼き芋にしたいな」と期待を込めて、“紅あずま”の苗を植えました。今後も水やりや草取りをしながら成長を見守り、畑での学びを深めていきます。



高橋さんと風越さん(写真右端)がやさしくアドバイス。一人ひとりが心を込めて丁寧に苗を植えました。

いいたて希望の里学園 CRSスポーツ工業が大風寄贈

6月16日、CRSスポーツ工業株式会社から、いいたて希望の里学園に大風が寄贈され、いいたてスポーツ公園で風揚げが行われました。大風に描かれたイラストは、現在の6・7年生が昨年度に描いたものです。大風は、春日部市庄和大風文化保存会の皆さんの協力のもと、前期課程の児童が力を合わせ、見事、飯舘村の空に舞い上がりました。子ども達は、「みんなで作った風が空に揚がってワクワクした」「みんなで協力して風揚げをする貴重な経験ができた」と笑顔を輝かせていました。

